

生活者ネットワーク 国分寺市議会議員 TAKE FREE

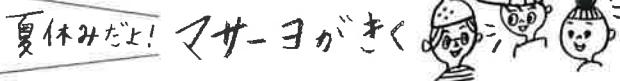
マサーヨがゆく vol.5

日々の暮らしと政治はつながっています。これは、マサーヨこと小坂まさ代が、市政のことをより身近に感じていただけたらとの思いをこめて、仲間たちと作ったレポートです。ひとりひとりが自分らしく生きていける社会にしていけるために、あなたの声を聞かせてください。



Instagramもぜひご覧ください @masayokosaka

事務所に遊びにいらっやいませんか？



2023/7/23 (日)・8/18 (金) 10:00 ~ 18:00

お子さん連れ大歓迎！小学生も中学生もどうぞ涼みにきて！お気軽にしゃべりしにお立ち寄りください。(ご予約不要) 自転車置き場あります。西国分寺駅徒歩1分。お待ちしております♪

お問い合わせフォーム <https://kokubunji.seikatsusha.me/contact/> 国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイツ 103 TEL: 042-328-1864

小さなお話し会を開催します。お気軽にご参加ください。

小学校の先生のおはなし 教室での実践 ~インクルーシブの視点から~

- 8/8 (火) 10:30 ~ 12:00 国分寺・生活者ネットワーク事務所にて
- オンライン併用 ●くわしくは事務所までお問い合わせください。

生活者ネットこくぶんじ No.167 小坂まさ代の活動を紹介します
発行日：2023年7月10日 発行：国分寺・生活者ネットワーク 発行責任者：田中由紀
〒185-0024 国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイツ 103 TEL: 042-328-1864
FAX: 042-328-1878 kokubunji@seikatsusha.net <https://kokubunji.seikatsusha.me>

小坂まさ代 青春エッセイ

「いつか、また、どこかで会う日のために」

20代後半の5年間は、青山にあったヨーロッパのリネンや家具を扱うインテリアショップのスタッフをしていた。本店は、パリのサンジェルマンにあり、ソファが50万円、ランチョンマットが1枚5,000円するその店に漂うハイクレードな雰囲気は、ガラスの回転扉を押して入ってくる人を選んでいるかのようだった。どんなに頑張ってもその店に私が似合わないと思ったのだろう、ある日店長は、「マサーヨさんは無理に家具を売ろうとせず、石鹸と軽石だけ売ってくださればいいんですよ」と笑顔で告げた。言葉の棘は、丁寧なほど、鋭く刺さる。以来私は接客よりも、ディスプレイに使うリネン類を毎日のようにアイロンがけるようになった。一生分のアイロンがけをそのとき済ませてしまったので、我が家のアイロンがけは夫の担当だ。ワッフル織りの薄いバスタオルや、枕元に置くラベンダーのボブリンの四角いサシェはここで初めて知った。

その店ではその後いろいろなお話があり、先輩たちが順に辞めていき、会社が閉店の決断をしたときには、あの店長も既に退職して、いつの間にか私がいちばんの古株になっていた。在庫庫分の閉店セールを取り仕切り、倉庫での残務処理を終え、社長から「アパレルの方に移って仕事続けたら？」とありがたいお言葉もいただいたが、しばらくはゆっくり休みたいと思い、丁寧に断りをした。5年間いろいろとお世話になったダンディな社長は、10年ほど前に60代半ばで逝ってしまい、もう会うことは叶わない。

通勤する人たちが次々と通り過ぎていく駅前市政報告をしていたある朝、見知らぬ女性に声をかけられた。

「金澤さんですよ？」このまちではほとんど知っている人のいない、私の旧姓をその人は口にしました。あの店で働いていた頃の後輩だった。「近所でポスターを見かけて、ずっと気になっていて。インターネットで検索してみたら、間違いない、金澤さんだって。事務所にお電話しようかなって思っていたんですよ。ここに連絡ください」と言って名刺を渡し、足早に改札口へ向かった。

この仕事をするために、名前も顔も経歴も晒すことに、ためらいと不安がなかったといえは嘘になる。ただ、その覚悟を「すごいことだ」と受け取ってくれた方もたくさんいたし、四半世紀を経たこんな信じられない再会だってもたらしてくれた。この挑戦をしなかったら、当時全く違う場所に住んでいた私たちが、こうして再び会うことはなかっただろう。500mほどの距離に15年も暮らしていたのに。

この春、私はたくさんの方たちのおかげで、このまちの人たちのためにこれから4年間の間働けることとなった。

その美しい人は、私が駅前に立つ度に笑顔で手を振り「がんばってください」と声をかけ、職場に向かっていく。私は、「いってらっしゃい」と見送る。ひとりひとりの今日が、「どうか健やかでありますように」と、たくさんの背中を見送る。空は青く、緑は深く、爽やかな風が吹いている朝に。

小坂まさ代 国分寺での暮らし

第一子の妊娠中、壁一面作り付けの本棚のある古いアパートと出会い、縁もゆかりもなかった国分寺に転居。ふたりの娘に親として育てられつつ、PTA活動をしたり、公園や保育園でお話し会をしたり。2021夏、生活者ネットワークから市議補選に立候補し当選。2023春の市議選で2269票を獲得し6位当選。厚生文教委員会副委員長、新庁舎建設等特別委員会委員、議会運営委員会委員、湖南衛生組合協議会議員。

●詳しいプロフィール <https://kosaka.seikatsusha.me/profile/>

どうなってるの？ 国分寺の水



飲み水、お風呂、洗濯など私たちが毎日使っている水道水に化学物質が入っていました。多摩地域に住む人の血液検査の結果、国の平均値よりかなり高い数値がでたことがテレビや新聞で報道され、心配する市民の方の声がたくさん寄せられています。

Q. PFAS (PFOA, PFOS) って何？

有機フッ素化合物の総称。4700種類以上が人工的につくられ、水や油をはじき、熱に強いのでフライパンや衣服、消火剤などにたくさん使われています。PFOS (ピーフォス) と PFOA (ピーフォア) はすでに製造を禁止されていますが、まだ環境中に残っています。分解されにくく環境や人体に長く残り、発がん性などの悪影響があるとされています。

Q. どうして水道水に入ったの？

原因はまだはっきりわかっていませんが、地下水の上流にある工場の水や米軍基地が使った泡消火剤がもれて入り込んだ可能性があると言われています。高い数値がでている地域は日本にも世界にもたくさんあり、国では今年に入ってから専門家会議を開き、対策の検討をはじめました。

Q. 国分寺の水道水、今はどうなっているの？

東京都は2019年6月、東恋ヶ窪浄水場ほか高い濃度が検出された浄水場の地下水の水道水源を停止。国は2020年4月に暫定目標値をPFOSとPFOAを合わせて1Lあたり50ng(ナガ7法)とし、現在東京都水道局ではこの目標値を下回るように調整しています。市議会では6月の一般質問で9人の市議がこの問題について取り上げ、現状や対応の確認、わかりやすい情報提供と、国や都に早急に調査や対策をするよう求めました。

豊かな国分寺の湧水や地下水を守るためには、原因究明がいちばん。生活者ネットワークでは市と都が連携して国に早急に調査するよう求め、健康への影響についても、調査や研究するように働きかけていきます。

詳しくはこちらをご覧ください

水道水における有機フッ素化合物について (東京都水道局)



パンフレット ~PFAS (有機フッ素化合物) 汚染環境と人体を蝕む「永遠の化学物質」の規制に向けて (ダイオキシンの環境ホルモン対策国民会議 (JEPA))



生活者ネットワークの活動

市民の手で市民のための政治を行う政治団体。子どものこと、緑や水のこと、医療や介護のこと、ゴミのこと...身近な暮らしにある「なぜ?」「どうして?」をみんなで共有・活動し、市政・都政へ質問や提案をしています。現在、3人の市議会議員 (高瀬かおる、小坂まさ代、松岡まり) と都議会議員 (岩永やす代) が所属しています。お話し会、調査活動、学習会など楽しい活動がたくさん!

あなたの声を 市政・都政へ

